

町政を質す!!

平成29年第4回町議会（定例会）一般質問

6人の議員が登壇し、多岐に渡り熱い議論が展開されました。

一般質問 秋元 直樹 議員



【問】 平成22年に日本ジオパークの認定を受けた白滝ジオパークは、平成26年の条件付き再認定に伴い、平成28年に再審査を受け、再認定となり今日に至っております。

白滝地域以外の町民のジオパークへの積極的な参画や、町全域を跨ぐ広域的な各地域の特色を生かした活動も認定条件なので、広域的な活動を開いていくと思われます。

どのように広域的な活動を開いていくのか、次の2点について町の考え方を伺います。

1 地域の特色を生かして広域的な活動を考える

【町長】 町全域をエリアとして、日本最大級の埋蔵量を誇る黒曜石の産地で、日本ジオパークネットワークに認定されていま

中で、各地域のジオパークに関わる特色を町としてどのように捉え、どのような形で地域間の連携を図っていきますか

2 ジオパークを観光に活用するには、ツアーや周遊観光がリピーターを呼び込むためにも重要なと考えます。各地域を跨いだ広域的なツアーリーにして、どのような考えを持っていますか。

【町長】 町全域をエリアとして、日本最大級の埋蔵量を誇る黒曜石の産地で、日本ジオパークネットワークに認定されていま

ます。

1 白滝地域は、黒曜石は実施されていないのが布地域は、いこいの森周辺の風穴、山彦の滝や太

平ジオパークロード、遠軽地域は、願望岩、北海道家庭学校、生田原地域は、北の王鉱山遺産等を特色として捉えています。

2 広域的なジオツアーリーの活動と、ガイド組織「NPO法人えんがるジオ俱楽部」の活動との連携を図っています。

今年度は、ガイド養成・人材育成の取組を進めていきます。

【再問】 丸瀬布・白滝地域

再認定の際にジオパークに誘導する案内看板が少ないと指摘を受け、可視化が課題です。

まずは、今年度遠軽駅の待合室に大型バナーを付けてPRします。

また、駅の前にジオパークのエリアマップの設置を予定しております。

今後は国道沿いの既存の看板の利活用も視野に入れながら優先順位を決めて、ジオパークの可視化に努めていきたいと考えています。

【答】 **ジオパークの広域化について
今後の考えは
行っていく**

ジオパーク推進課長

誘導する観光案内版が少なく感じます。全地域が合流する遠軽地域のT字路にわかりやすい観光案内版の設置を検討しては。

町政を質す!! ただ

町長 本事業は、遠軽高校生徒の確保及び保護者の経済的負担を軽減するため、遠軽地区3町以外の遠距離から通学する生徒の保護者に対し、通学及び下宿等に要する費用

軽減が目的でなく、地区外から生徒を呼び込み、確保しなければ遠軽高校の維持が困難となり、地域の教育力の低下や産業の衰退に繋がるとの観点から実施しています。

する傾向が続いております。今後は一人でも多くの地元出身者が遠軽高校に進学し、「ふるさと・えんがる」を支え、担う人材を育てることが重要かと思いますが、町長の

り町外高校へ進学することは、承知しており、進学先を制限できません。

〔通学者等助成事業〕
は、遠軽地区（遠軽、湧別、佐呂間）以外の通学生に優遇されますが、JR等を利用している生田原、安国、白滝及び丸瀬布地域の生徒や保護者は、「地元の通学生に助成しないのは不公平」との声が聞かれますが、どのようにお考えか町長に伺います。

の一部を助成する事業です。遠軽地区内の2町に高等学校があり、限られた生徒数を考慮し、3町以外から通学する生徒の保護者等をその対象にし、地区外から進学しやすい制度を整備し、町内唯一の高校を守る政策です。

不公平とのことです。本事業は、保護者等に対

地区外の生徒に対し、遠軽高校に進学しやすい環境を整え、生徒を確保し、高等教育を守ることが、地域の教育力向上、地域の発展に寄与するものとして実施しています

町長 一人でも多くの地元出身者が遠軽高校に進学し、「ふるさと・えんがる」を支え、担う人材を育てることは、大変重要であると認識しています。しかし、本人の希望や保護者等の考え方により学習面のみならず、文化・スポーツ活動を重視

ス編成や少人授業などの進路サポート体制の充実を図り、生徒確保の活動に対する補助・支援をしています。

問質一般



答 「遠軽高等学校通学者等助成事業」について
現行のなかで、引き続き支援し
守っていきたい

ちが学習面や部活動で活躍できるよう、これまでも教育委員会と連携し、大学受験オンライン講習補助や楽器購入費補助部活動の全国大会出場に係る補助などの支援をしています。

問質般一般



公共施設の受動喫煙防止対策は
地域住民の実態を調査しながら
進めます

いうことでは、天井から床まで仕切りを早急に設置すべきと考えるが、いかがですか。

町として喫煙者のマナー向上と、健康被害防止のための町民周知・公社施設等への掲示の徹底をすべきではありません

情報管財課長　国、道の動向を踏まえ、町民に広報等で周知していきます

社会教育課長 子どもたちの利用もあることから館内禁煙も含めて調整していくます。

問 たばこを吸わない人が受動喫煙で肺がんになる可能性は、受動喫煙がない人の約1・3倍で、さらに一年間で少なくとも約1万5千人が受動喫煙で命を落としていると厚労省研究班の報告がありました。

これまでも喫煙に関する慣習、社会の状況を踏まえれば、喫煙者に対しても最小限の適切な処置は必要との考えも示し、多くの人が使う場所を最も厳しい「敷地内禁煙」

る慣習、社会の状況を踏まえれば、喫煙者に対しても最小限の適切な処置は必要との考えも示し、多くの人が使う場所を最も厳しい「敷地内禁煙」で対象者は、未成年者や患者が利用する小中高校や医療機関、「室内禁煙」は、社会福祉施設や官公

シ－などと、「喫煙専用室設置可」の三段階で規制されております。

本町においても喫緊の課題と考え、次の点について伺います。

1 禁煙・分煙など公共施設の現在の対応状況はどのようになつていてか。

2 今後の公共施設における受動喫煙対策は、法改正を見据えて今度のどのように対応しますか。

利用される97の施設に対し、敷地内禁煙としている施設が15施設、施設内禁煙が58施設、分煙をしている施設が19施設、うち9施設は喫煙室を設置しております。

本町におきましても、健康増進法に基づき、大勢の人が利用する施設に対し受動喫煙防止につとめているところです。

2については、「今後の公共施設における対応」については、国の受動喫煙防止対策強化及び法改正の動向を踏まえ、さまざま利用者に対し配慮しながら受動喫煙防止に対しての取り組みを

再問 たばこには、喫煙者が吸い込む主流煙と呼ばこの先から出る副流煙があります。副流煙には主流煙よりも、ニコチン2・8倍、タール3・4倍一酸化炭素4・7倍、さらに発がん性のある化学物質が多く含まれています。

A black and white photograph of an ashtray filled with cigarette butts and debris, with a lit cigarette resting on the rim. The image serves as a visual metaphor for the impact of smoking on the environment.

町政を質す!!

町長

遠軽町でも集中豪

再問 整備時期はいつになりますか。また、地下水が濁つて使用不能になつ

た場合、対応できますか。

地下水が濁つた場合は、一時的措置としてポリタンクによる臨時給水を行つており、学田へ抜ける道で事故が起きた場合、緊急時の対応ができません。

と考えますが、町長の見解を伺います。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、平成32年には高規格道路も整備され、さらに生活しやすい環境になります。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、川の水質悪化や、水道原水の濁度の長期化など、になることもあります。住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

しかし、未だ通話不可能地区があります。そのうちの若松地区7戸はほとんど農家で外作業中の連絡が不便です。

一般質問
松田 良一 議員



問 上水道未整備地区の解消について
答 地域住民の実態を調査しながら進めます

問 豊里地区の地下水は、台風などの長雨により飲料水が薄赤く濁つた状態になることもあります。長く住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、川の水質悪化や、水道原水の濁度の長期化など、なることもあります。住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

しかし、未だ通話不可能地区があります。そのうちの若松地区7戸はほとんど農家で外作業中の連絡が不便です。

通信基地局の設置を早く各関係機関に要望すべきと考えますが、町長の見解を伺います。

町長 町内の携帯電話不感地帯は、若松、湯の里、丸瀬布武利です。

滝上町で起きた死亡交

通事故をきっかけに携帯電話不感地帯に対する不安感が高まっていることは承知しております。高規格道路の延伸に伴う交通量の増加への対応は、事故等の迅速な対応に欠かせないインフラであります。

国においても、携帯電話不感地帯の解消に向けて各自治体の現状調査を行つており、国や事業者とも情報共有を図り要望を検討します。

水道課長 豊里地区の人净水処理に苦慮する事態が多くなりました。

このような状況のなか、現在、白滝地区の整備に着手したばかりで、費用もかかります。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、川の水質悪化や、水道原水の濁度の長期化など、なることもあります。住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

問 携帯電話は、生活中必要不可欠であり、通信手段としてなくてはならないものです。

国においても、携帯電話不感地帯の解消に向けて各自治体の現状調査を行つており、国や事業者とも情報共有を図り要望を検討します。

水道課長 豊里地区の人净水処理に苦慮する事態が多くなりました。

このような状況のなか、現在、白滝地区の整備に着手したばかりで、費用もかかります。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、川の水質悪化や、水道原水の濁度の長期化など、なることもあります。住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、川の水質悪化や、水道原水の濁度の長期化など、なることもあります。住みなれた場所を離れようと考えている人もいます。

この地区は、市街地にも近く住みやすい場所で、安国地区、生田原地区上水道を整備し、今年度より、生田原水穂地区、白滝地区の上水道整備に着手しました。

現段階で豊里地区の給水地域拡張の時期は明言できませんが、「遠軽町水道事業ビジョン」で豊里地区の給水拡張を平成34年から平成38年を予定しています。

町政を質す!!

一般質問
岩澤 武征 議員



丸瀬布厚生病院が8月から診療所になるという報道がありました。この中で考える会の会長は、「診療所化した数年後に廃院となるケースも多い。診療所も維持されるか懸念している」と述べています。地域の人たちにとっては、一番の心配事で、すでに治療に不安を感じて転出した人もいます。町として、このような住民の懸念を払拭するところが求められています。

また、遠軽厚生病院の常勤医が減少して、派遣医の診療科が増えていることに町民の中には、「どんどん医者も減つて

年を取つたら遠軽には住めなくなる」という声もあります。そこで次の3点について伺います。

1 丸瀬布厚生病院の診療所化後の懸念をどのように受け止め、町民の不安解消のための方策を考えていますか。

2 今後、福祉の面からも重要な在宅医療ですが、遠紋地域は、在宅医療の空白地帯といわれています。町民の安心のためにも在宅医療の確立は急がれます。今後の見通しはどうのようになつてありますか。

3 遠軽厚生病院が、遠紋二次医療圏センター病院としての機能を維持するために医療体制を充実してもらう必要があると考えるがどうですか。

1 診療所後の外来診療について、町民の健康診断、訪問診療、特別養護老人ホームの回診、予防接種等については、引き続き行うとの報告を受けています。町としては、オホーツク圏域の医師不足の解消と医療提供体制の充実のための制度改廃について、国、北海道に対しても要望活動を行っています。

2 現在、紋別保健所が中心となつて「遠紋圏地域在宅医療推進ネットワーク協議会」を設置し検討を進めています。町長 平成27年度からハイヤーも利用できるようになり、利用者が大幅に増えたところです。当面は1回に使う枚数を増やす考えはありません。

問 地域医療の維持・充実を
海道及び国に要請します

問 現在70歳以上を対象に1人年間72枚の、のりものチケットが活用されています。
車券の1回に使われる枚数を複数に増やせないか
答 当面は1回の枚数を増やす考えはない

町政を質す!!

一般質問
佐藤 昇 議員



問 平成29年3月の高規格道路瀬戸瀬IC延伸、平成31年度には遠軽IC道の駅の建設など、今後益々交流人口の増加が期待されるところですが、現在町内に存在する森林公園いこいの森、太陽の丘遠軽公園(コスモス園)生田原木のおもちゃワールド館や、温泉施設などにもより多くの方に立ち寄っていただけるような取り組みも必要と考えます。

町長 施設の利用促進についての見解を伺います。平成26年6月定例会における一般質問での「地域の観光のPRと一

2 新たな施策として何らかの特典がついた観光施設の町内めぐりスタンプラリーのようなものを実施してはどうか伺います。

商工観光課長 施設の利用促進に向けた施策については、これまで割引券方式、スタンプラリー方式による複数施設の利用促進に向けた取り組みを検討して

体化した共通利用割引券の発行を」との質問に対し、「前向き検討」との答弁がされていますが現在実施には至っておりません。その後の検討経過について伺います。

2 新たな施策として何らかの特典がついた観光施設の町内めぐりスタンプラリーのようなものを実施してはどうか伺います。

そのような埋没しているダイヤの原石となり得る資源を観光資源として磨き上げ、どのようなストーリーで観光へと結びつけていくかという部分も重要な課題です。

再問 2に関連して、丸瀬布道の駅、丸瀬布ICの利用促進も視野に入れながら、必ずそこを通じていただけるようなしかけも考えてはどうですか。

問 い 関係機関と協議しながら進めた

きました。

向を見ながら取り組んだ上で、町内の観光施設相互通用促進に向けた方策を関係機関とも協議しながら進めたいと考えています。

質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。